

12体育健康プラン

・横浜市教育振興計画
・横浜教育ビジョン
・横浜版学習指導要領

一人ひとりの子どもにしっかり教え、しっかり引き出す指導を通して、知・徳・体・公・開で示す「横浜の子ども」の育成を目指します。

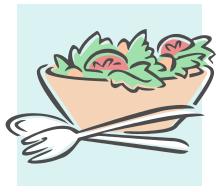
生きる力の育成

「ゆとり」「活力」「魅力」のある学校

学校教育目標
「ともに学びより良い生き方を見つけたすしろさとっ子」
本年度強調目標
自ら考え
自ら判断し
自ら行動する

関連法規
・日本国憲法
・教育基本法
・学校教育法

・子どもや地域の実態
・保護者や地域の願い
・教職員の願い
・中学校の学校教育目標
・幼稚園や保育園の運営方針



健康教育の目標

自分自身の健康に関心を持ち、生涯にわたる心身の保持増進を目指し、健康的で安全な生活を実践する態度を育てる。

☆運動に親しむ資質や能力の育成
・生涯にわたって運動やスポーツを豊かに実践していく基礎を養う。体を動かす楽しさを実感できる。

☆健康の保持増進
・健康や安全についての実践的な理解を通して、自らの生活行動や身近な生活環境における課題を把握し、改善できる資質や能力を養う。「早寝 早起き 朝ごはん」を推進する。

☆体力の向上
・心と体を一体ととらえ、適切な運動の経験と健康・安全についての理解を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てるとともに、健康の保持増進と体力の向上を図り、楽しく明るい生活を営む態度を育てる。児童委員会の活動、夏休みの水泳、休み時間の外遊びを励行する。手洗いうがいや衣服の調節など自分の体に意識を持つようにする。

☆体育科学習

◎**体育科目標**
○豊かな心の育成
○健康でたくましい体の育成
○国語力及び学習の基礎的能力の育成
○コミュニケーション能力の育成
○情報社会を生き抜く能力の育成
○社会の変化に対応する能力の育成

☆健康課題の学習

◎**食に関する指導目標**
①食事の重要性
②心身の健康
③食品を選択する能力
④感謝の心
⑤社会性
⑥食文化

☆低・中・高学年の発達段階に応じた食教育の

◎**心身の成長に関する指導目標**
児童の人格の完成を究極の目的とし、豊かな人間形成に資するため、人間の性を人格の基本的な部分として総合的にとらえ、科学的知識を理解させ、児童が生命尊重、人間尊重、男女平等の精神に基づいた異性間を持つことにより、自ら考え、判断し、意志決定をする能力を身につけ、望ましい行動をとれるようにする。

◎**安全に関する指導目標**
日常生活全般における安全確保のために必要な事項を実践的に理解し、自他の生命尊重を基礎として、生涯を通じて安全な生活を送る基礎を培うとともに、進んで安全で安心な社会づくりに参加し貢献できるような資質や能力を養う。

横浜の時間

総合的な学習の時間 ※関連を図ることで、より効果的に健康教育の推進を図る。

各教科

道徳

特別活動

人権・福祉教育

<その他の教育活動>
○児童が健康で安全な生活が送れるよう、役割を分担し約束を守るようにする。
・朝の健康観察 ・清掃活動 ・給食 ・施設設備の安全点検 ・健康教育に関する掲示等

<学校保健委員会>
○各年度に合わせたテーマで、年2回実施
・各クラスでの話し合い
・校医の方々との連携

<保健室>
○健康教育センターとしての機能の充実
・保健情報の収集、資料の整備
・保健指導

<家庭・地域・関係機関との連携>
○専門性のある方々を積極的に学習に招請する。
・区役所、福祉保健センター等との連携
・保護者ボランティア
○学校からの啓発活動を行う。
・学校だより、保健だより、給食だより、ホームページ等